

当院の新型コロナウイルス

当院では、患者さん、利用者の方に安心して受診していただけるよう、新型コロナウイルス感染症に

発熱者外来では感染防止策を強化しています



1

医師や看護師をはじめ、スタッフは必要な感染予防策(防護服の着用等)をとって診療にあたっています。

3

発熱や咳などの症状がある場合は、院外(テント内や車中など)での待機や問診等を行い、病院への出入り口を一般とは分け、発熱者用診察室(病院内)で診察を行っております。



4



受付や待合、階段手すり、エレベーターボタンなど定期的に環境整備(消毒)を行っております。また、待合は間隔を空けて座っていただいております。定期的な換気を行っております。



2



病院入り口で体調確認や検温を行い、手指消毒とマスクの着用をお願いしております。また、診療時間外では正面玄関はインターホン対応を実施しています。手術や内視鏡検査前日には電話で体調確認をさせていただきます。

来院者全員に検温を実施しています



5

受付窓口やスタッフルームでは飛沫感染防止シートを設置しています。

職員食堂でも飛沫感染防止対策を行っています



ウイルス感染症対策



対し下記の感染対策に取り組んでおります。

6 来院が難しい方には、電話での再診(初診は不可)を行っております。

7 可能な限りの感染対策を行ったうえで、診察を縮小することなく、検査・健診・手術も行っております。

8 入院患者さんの面会是一部制限させていただいております。また、オンライン面会を行っておりますのでご利用ください。

オンライン面会の様子



病院長も一緒に防護服を作りました

防護服が不足していた時期は、職員や家族がビニール袋で簡易防護服を作成し、使用していました。

この取り組みが山陽新聞に掲載されました。



山陽新聞に掲載されました



寄付のお礼

さまざまな方よりマスクやフェイスシールドなどをご寄付頂きました。ありがとうございました。

町内会の方や、中にはたくさんのマスクを手作りして下さった近隣住民の方もいらっしゃいました。職員一同、御礼申し上げます。

PSAとは、「前立腺特異抗原、prostate-specific antigen」の略語で、前立腺から分泌されるタンパク質のことです。

6月から院内でPSAの検査を始めました。今までは、外部の検査センターに検査を委託していたので、結果をお伝えするために後日改めての来院をお願いしていました。これからは、血液を採っておよそ1時間程度で結果がわかります。健康な男性では、このPSAの多くは精液中に分泌されて血液中にはほとんどみられず、血液中PSA濃度としては4.0ng/mL以下です。ところが、前立腺になんらかの疾患があるとPSA濃度は4.0ng/mL以上に上昇し、その場合に考えられる疾患は、前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎などがあります。

よって、PSAの上昇がみつかった場合には、PSAを再度検査してPSA濃度の変動をみたり、直腸診で前立腺が大きくなっていないか、硬い部分があるかなどをみます。また、超音波検査で前立腺のサイズを測ったり、形を見たりします。さらには、症状や尿検査で前立腺に炎症があるかどうかなどを見ます。これらの検査結果を総合的にみて、がんが疑われるようならば精密検査(前立腺生検)が、肥大症や炎症が考える場合には適した治療が必要になります。

前立腺がんは、日本ではもともとあまり多くみられませんが、2010年には男性のがんのうち4番目の多さになり、さらに2016年には2番目となり、今後も増えることが予測されています。

この前立腺がんの危険因子のひとつに「年齢」があります。50歳を過ぎると、がんになる確率が急激に増加するため、50歳を過ぎたら1年に1回はPSA検査を受けることをお勧めします。また、「家族歴」も前立腺がんのかかりやすさに関係すると言われています。そのため、前立腺がんになったご家族のおられる男性は、早期発見のためにできれば40歳になったらPSA検査を受けることをお勧めします。

50歳すぎたら
PSA検査!



在宅事業部だより

訪問看護ステーションこばたけ ①

今号から4回に渡り
訪問看護ステーションこばたけの
連載を行います。

訪問看護は、病気や障がいを持った人が、住み慣れた地域やご自宅等でその人らしく療養生活を送れるように、生活の場へ訪問し看護やリハビリを提供するサービスです。

当ステーションのスタッフは、保健師・看護師が8人、リハビリテーションの理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は常勤換算2.1人で構成されています。それぞれが訪問看護・リハビリに役に立つ資格や豊富な経験を有したベテランで構成されています。

特に今年4月に入職した理学療法士は呼吸器リハビリテーションを専門的に行っており、呼吸器疾患や神経筋疾患の方にも呼吸器リハビリテーションを実施しています。地域の皆さん、ケアマネジャーさん、先生方にお見知り置き頂きたいと存じます。

次号からは呼吸リハビリテーションの紹介をします。



心臓いきいき在宅支援施設

- 在宅緩和ケア実践コース修了者——1人(広島県)
- ELNEC-J修了者——6人(日本緩和医療学会)
- 訪問看護管理者研修修了者——2人(全国訪問看護事業協会)
- 訪問看護eラーニング終了者——2人(日本訪問看護財団)
- ケアマネジャー資格者——1人
- 福山市介護認定審査会現委員・終了者——3人
- 呼吸療法認定士——3人
- 心臓リハビリテーション指導士——1人
- 認知症ケア専門士——1人